

第2回ひまわりの里基本計画策定委員会

日 時：令和元年6月30日（日）18：30～21：00

場 所：北竜町役場 2階会議室1

出席者 別紙名簿のとおり委員22名、事務局4名、傍聴11名、

1 開 会 事務局 役場産業課 吉田係長進行

2 挨拶 高橋副町長～新委員もいるため、実施要領、趣旨説明も含めあいさつ
また、今後の委員会スケジュール。

3 議 題

- (1) 新委員紹介 吉田係長 4名、また委員ではないが、梅原デザイン事務所大西氏、北海道立総合研究機構 佐々木氏紹介。
- (2) 意見・要望聞き取り前に、別紙資料の通り前回出た意見及びパプコメについて説明。
- (3) 各委員より意見・要望の聞き取り 鈴木委員長進行

展望台の改修について

○田口委員より改修案について説明（別紙資料）

【高橋副町長】より補足説明。2、3日で完成できる。今年のひまわりまつりに間に合わせられる。

【田中委員】～素人目だが、どこが老朽化しているのかわからないほどしっかりしている。あくまでも事故防止のための補強か？

【田口委員】～木は腐っておらず、しっかりしている。連結する金具のサビがひどく不安がある。手すりの木も華奢で補強必要。注意喚起。

【高田（昌）委員】～色は？

【田口委員】～塗装するとどこにでもあるものになってしまうので、あえて未塗装。生成りを生かす。クリアコーティングはする。元々の塗装のエイジングを生かす。

ギンガムチェックの展開について

○竹林（由）委員より、Tシャツ、バッグについて説明

NPO立ち上げ、Tシャツ（あかるいTシャツ）の作成、販売を行う。

バッグは作成に手間暇かかる。みんなが作れるようにしていきたい。販売予定。

(米粉ピザ、焼きおにぎりの試食を用意。)

【梅原委員】～Tシャツについて、大きさ、チェックの色と大きさ、素晴らしい。2,000円なら十分売れると思う。普段着ることができ、Tシャツに町の一部がついているデザイン。子ども用を作ったところが素晴らしい。

バッグについて、地元の人にとっては身近な素材であり、5,000円で販売すると引く。しかし東京の人は、驚きを感じ、購入する可能性がある。作るのに4～5時間かかるのだから、時給@800円×4時間=3,200円で販売しては、価格の理由がわかれば買うと思う。販売ディスプレイは、中央に2メートルくらいの巨大なバッグを配置し、中に野菜などを詰める。その周りにバッグをディスプレイする。サイズはいろいろ用意した方がよい。職員がTシャツを着用し、ニュースソース作り。

(北島委員から、Tシャツやバッグの話は別でやるべきとの意見。)

会議の進行方法について

【佐々木委員】～ソフト面を話していくことは重要。まちづくりでは珍しい事例であり、意味あるプロジェクトだと思う。

【鈴木委員長】～ソフトとハードそれぞれ生かしつつ、センスが地域の個性となる。

【田口委員】～自分はハードを整備する側だが、建てたとしても使ってもらわなければただの置物。ソフトの議論はみんな参加しやすく、そこからハードの議論につなげてはどうか。

【高田(昌)委員】～NPOが活動し、鈴木先生たちの熱意も伝わるが、町内への浸透が足りない。情報をもっともっと出してくれないと。NPOだけがやっている状況。底上げをどうするか?このままでは保育所の時と同じになる。

【竹林(由)委員】～NPOは、認可が下りたばかり。情報発信等すべてにおいて遅い。皆さんが参加できるように発信したいが自分たちの活動が遅い。ただ情報を求める姿勢も大事。

【藤田委員】～この委員会、いろいろ意見を聞き取っているが、最終的なところ、何をやるかが見えない。2月に計画ができると思うが。売店組合としても初めて聞くことが多い。情報公開が足りないと思う。

【鈴木委員長】～いろいろな意見を出してほしい。しゃんしゃん会議が一番いけない。町としての未来について、いろんな意見を出したらいいと思う。全体の底上げはなかなか難しいが、やる気のある人が意見を出し、一点だけでも底上げできるような。否定的な意見はだめ、全否定もだめ。

前向きな意見を出していただいて、やる気ある人の意見を吸い上げ、ハード等の計画につなげていく。

【小野委員】～自由な意見をというが、しかし町民の意思を聞いてくれていない。違うことを議論、誘導されているような気がする。

【藤信委員】～我々はこういった議論になれていない。次第通りに進む議事進行になれているので。

【鈴木委員長】～先に皆さんから意見を聞いてからの方がいいと思い、このようなスタイル。

【竹林（由）委員】～どうやって盛り上げるか。数%しか観光センターに寄らない。ブースに人を呼びこむ方法を考える場だと思っている。あわせて観光センター、展望台もどうしたらいいかにつなげていく。保育所の時は、建物の批判ばかりで、どう子どもを育てるかと言うことが大切なのにその議論がなかった。観光センターも同じ。町のPRのために、北竜でしか買えない、食べることのできないものを考えていく。

【澤田（正）委員】～竹林委員の言うとおりでと思う。

【藤田委員】～売店組合としても思いはみんな一緒だと思う。どうやって人を呼べるか考えている。

【鈴木委員長】～T シャツやバッグについての意見もいただきたい。

【佐光委員】～施設を用意すればいい時代は終わった。魅力作りも限界。

【高田（昌）委員】～底上げをしないと。引っ張るだけではだめ。

【佐光委員】～人を呼べる、勉強会、行動した人もいる。意義がある。

【鈴木委員長】～我々も地元のこと、わからないことあるので、お互い学びながら進めていく。

【竹林（玲）委員】～前回の委員会の着想で、別紙の通り意見が出された。団体ごとの意見、素晴らしいと思う。誰ができるのかが大切。

ギンガムチェックの展開について②

【澤田（貴）委員】～T シャツの色について、「白」のほうがいい。生成りはだめ。

【鈴木委員長】～自分たちのやっていること、是非知りたい。

【高田（昌）委員】～T シャツは素材、厚みが重要。薄いとはだめ、メッシュ系もいい。

【鈴木委員長】～外注することもできたとしても、自分たちで手作りでやるのが大切。谷垣委員よりおにぎりコンテストについて報告を。

おむすびコンテストについて

【谷垣委員】～（店長会議の話）

【高田（昌）委員】～「知らないことが怖い」自分の町のこと、広報やHP 以外でも情報を用意していかな

いと。コミュニケーション不足。団体の代表だけが知っていて下の人間に伝えていかないと。

【竹林（由）委員】～町でせっかく起業セミナー開催しても、参加少なく残念。若者、無関心すぎる。嫁は町外から来てなかなか仲間ができない。男は元々町内にいるので、世間が狭い。情報を求めているのか。

【谷垣委員】～おむすびコンテストについて、経験上3%の回収、今回300通は応募があると思っていたが、51件。少ないと思う。風通しのよい

【鈴木委員長】～コンテストはせっかくの機会。生かさないともったいない。自分の町を楽しく、面白くしていきたい。

【田中委員】～いろんな意見を出す場、そして素晴らしい先生たちにそれを完成させてもらう場だと考えている。

展望台への希望や提案

【鈴木委員長】～展望台と観光センターをどうするか？

【高橋副町長】～体験観光は、北育ち元気村で実施、町内2、3カ所。町で単独の実施はなし。ひまわり油関係で体験実習を実施している（15～16名程度）。

【田口委員】～別紙資料の通り、模型を使って各案を説明。地元の人々の知識、知恵を活用したい。この模型を置いていくので、話し合いでの活用を。みんなで意見を出し合うことに参加することが大切。

【鈴木委員長】～ひまわりを長く咲かせるか、ほかの花で長期間見せるか、そういうことを含めて意見を。

【沖野委員】～大階段のアイデアはいいと思う。子どもも危険ではない。場所は世界のひまわりのところが。搬入口の問題が出てくる。

【田口委員】～搬入口のこと言われたが、まさにそう言うことは地元の人に言ってもらわないとわからない話。

【澤田（正）委員】～#4-2の案雄大でいい。しかし搬入口の問題。

【鈴木委員長】～来た人たちに魅力的と感じてもらうものでないと。まず人が来ないと始まらない。その次に商売的なことを考える。

【北島委員】～新築の方がよい。展望台+長屋的な。

【鈴木委員長】～新築する方向で話を進めます。今後3年くらい既存の観光センターが持つのかどうか。

【藤信委員】～現状は、屋上防水が5年間D判定の状態のまま。ひどくなってきている。防水改修で15,000千円、壁の修繕とあわせて3億ほどかかる。

【鈴木委員長】～改修でそれだけかかるのなら、新築の方向で行くべき。

【沖野委員】～現在の大きさがベスト。降雨時の避難場所として今の大きさ必要。食べる場所も必要。

【藤信委員】～今の観光センターは、スポーツ施設としても活用しており、その点も考慮しないと。解体するなら代替施設が必要になる。

【鈴木委員長】～それは町の仕事として対応すべきこと。次に観光センターと展望台を一体にするか別にするか？畑と飲食を一体にするか別にするか？

【沖野委員】～展望台一体でテラス。

【鈴木委員長】～一体がいい？

【田口委員】～両案を検討すべき。高さのリスクもある。(田口委員さらに案を作成する)

【鈴木委員長】～アイデアをどんどん出して、前に進んでほしい。

【田中委員】～土日多くの人訪れる。風通しがよくゆっくりできる場所。ひさし的な。中間の休憩スペースとして。

【田口委員】～次々移動ができる、簡易的なものも。

【鈴木委員長】～畑をどう作っていくか？道など、今年のまつりの時よく観察してほしい。そして、次回8月の会議の時、今年のまつりをふまえて意見を出してほしい。佐々木氏は来場者への調査をお願いしたい。→(佐々木氏)検討します。

【藤信委員】～気にとめてほしいことがあり、畑自体の改修をやってほしい。地力が著しく低く、ひまわりが咲かなくなる不安がある。年々咲きが悪くなってきている。なんとかしないと。会議で検討してほしい。

【澤田(正)委員】～客土や堆肥の投入を行っているが、追いついていない。

【高田(昌)委員】～30年以上同じ場所で連作している。暴拳としか思えない。リスクしかない。違うものを植えてみたらどうか。富良野はその輪作が観光になった。堆肥は匂いがきつい。客土はお金がかかる。思い切って1年休むとか。

【佐光委員】～一部ずつ、休んでいくとか。全国94箇所ではまわりに取り組んでいる。

【佐藤稔氏(傍聴席)】～秋小麦と相性がよいと聞き、秋小麦を緑肥としてすき込んでいる。粘土地でひどかったが、年々よくなった。堆肥は必要かもしれない。

【鈴木委員長】～観光センター、展望台は新築の方向で進めましょう。畑の維持についても考えていかなければならない。次回会議は、おにぎりなどソフトの話から入っていきたい。

情報提供

【石川委員】～「会社は7万円で作れる！！」の別紙資料説明。